

和歌山市の景観計画策定に向けた 市民意向調査の結果

郵送アンケート

街頭アンケート

郵送アンケートの結果

調査の概要

1. 調査の目的

和歌山市景観計画策定に向けた検討にあたり、市民が普段感じている和歌山市の景観に対する考えをうかがい、今後の計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査の実施概要

- 調査対象 : 市内在住の20歳以上の男女から無作為に3,000人を抽出
(住民基本台帳データを使用)
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収
督促状を2月3日に送付
- 調査期間 : 平成22年1月27日(水)～2月10日(水)
- 配布・回収数等 : 配布数 3,000通
回収数 1,516通(回収率 50.5%)

3. 調査項目

市の景観(まちなみ・風景)への評価について

問1 市内の類型別景観の評価

問2 市内の景観を損ねているもの(具体的な場所・地名)

お気に入りの景観(まちなみ・風景)について

問3 お気に入りの景観資源、もしくはその景観資源を楽しむことができる場所とその理由

市の景観(まちなみ・風景)づくりの取り組みについて

問4 和歌山市の良好な景観づくりに向けて取り組む際の姿勢

問5 行政の良好な景観づくりに向けた取り組み

景観(まちなみ・風景)づくりへの協力・参加意向について

問6 市の良好な景観づくりに向けて、あなた自身が協力・参加できると思うこと
フェイスシート

性別・年齢・居住地・居住歴

自由記述

調査の結果

注：集計にあたって

- ・単一回答で複数回答したものや、「2つまで」とした設問で3つ以上回答したものなど、回答の指示に従っていないものは、全て「無効」として扱っています。
- ・割合は「無回答」「無効」も含めた割合として算出しています。（そのため、全ての設問の割合の母集団は回収数 1,516 となっています。）

1. 回答者の属性

(1) 性別・年齢

性別は男性が 44.0%、女性が 55.0% となりました。

年齢は 60 歳代、70 歳代の割合が若干高くなっていますが、サンプリングの段階で偏りが無いように配慮したことから、ほぼ均等に分布しています。

表 1 性別・年齢

男性	女性	無効	無回答	合計
667	834	2	13	1,516
44.0%	55.0%	0.1%	0.9%	100.0%

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無効	無回答	合計
148	204	235	256	391	271	1	10	1,516
9.8%	13.5%	15.5%	16.9%	25.8%	17.9%	0.1%	0.7%	100.0%

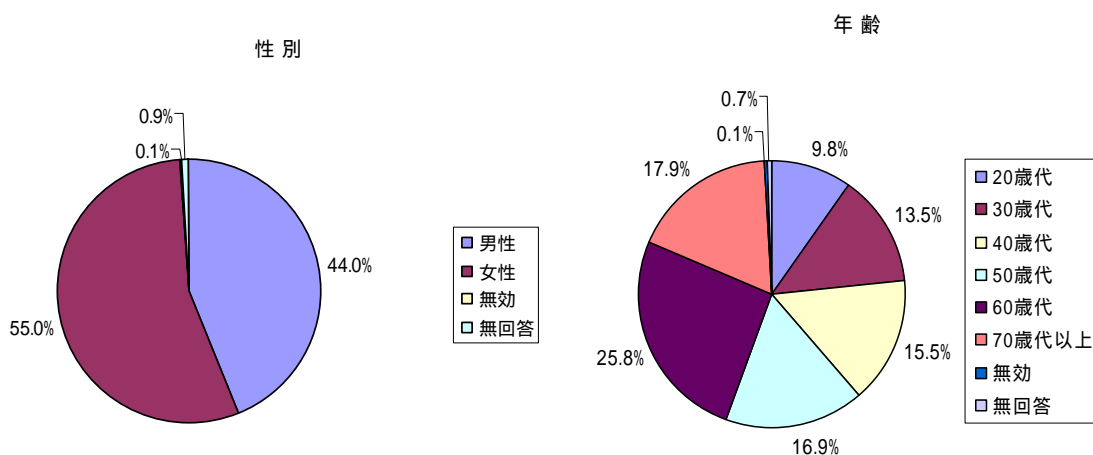


図 1 性別・年齢

(2) 居住地・居住期間

居住地は、中心部が27.0%、河西部が23.5%と、この2地区で過半を占めていますが、その他はほぼ同じ割合で分かれています。

居住期間は、30年以上暮らしている方が69.5%と多数を占めています。

表2 居住地・居住期間

中心部	南部	東部	東南部	河西部	河北部	無効	無回答	合計
409	194	214	136	357	180	6	20	1,516
27.0%	12.8%	14.1%	9.0%	23.5%	11.9%	0.4%	1.3%	100.0%

1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上20 年未満	20年以上30 年未満	30年以上	無回答	合計
15	57	45	103	233	1,054	9	1,516
1.0%	3.8%	3.0%	6.8%	15.4%	69.5%	0.6%	100.0%

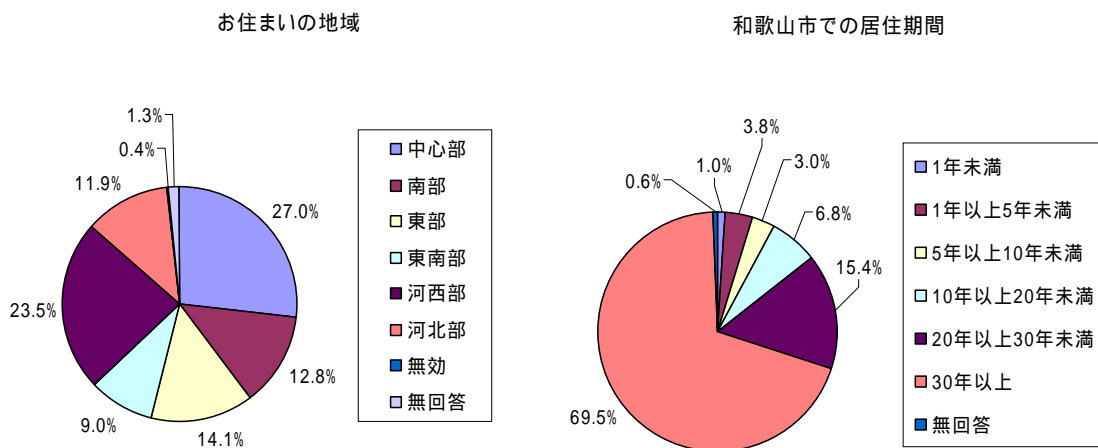


図2 居住地・居住期間

居住地の分類

- ・ 中心部：本町、城北、広瀬、雄湊、大新、新南、吹上、砂山、今福、高松、芦原、宮前、中之島、宮北
- ・ 南部：雑賀、雑賀崎、田野、和歌浦、名草
- ・ 東部：四箇郷、宮、西和佐、和佐、小倉
- ・ 東南部：岡崎、三田、安原、西山東、東山東
- ・ 河西部：野崎、湊、松江、木本、貴志、楠見、西脇、加太
- ・ 河北部：有功、直川、川永、山口、紀伊

2. 市の景観（まちなみ・風景）への評価について

（1）市内の類型別景観の評価

市内の景観を10の類型に整理し、それぞれについて、「とても良い」「良い」「普通」「あまり良くない」「良くない」の5段階で評価してもらいました。

表3 市内の類型別景観の評価

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない	無効	無回答	合計
市を取り囲む緑豊かな山林・里山景観	117	474	691	163	27	0	44	1,516
	7.7%	31.3%	45.6%	10.8%	1.8%	0.0%	2.9%	100.0%
集落と農地が一体となった田園景観	61	314	825	230	35	2	49	1,516
	4.0%	20.7%	54.4%	15.2%	2.3%	0.1%	3.2%	100.0%
紀の川に代表される河川景観	63	372	619	338	77	4	43	1,516
	4.2%	24.5%	40.8%	22.3%	5.1%	0.3%	2.8%	100.0%
海に面した湾・海岸の景観	188	546	483	185	60	7	47	1,516
	12.4%	36.0%	31.9%	12.2%	4.0%	0.5%	3.1%	100.0%
集落と漁村が一体となった田園景観	47	308	859	191	41	2	68	1,516
	3.1%	20.3%	56.7%	12.6%	2.7%	0.1%	4.5%	100.0%
和歌山城周辺の城下町等の面影を残すまちなみ景観	106	422	584	273	88	8	35	1,516
	7.0%	27.8%	38.5%	18.0%	5.8%	0.5%	2.3%	100.0%
戦後に形成された中心市街地(大通り・商店街・駅前など)のまちなみ景観	12	125	512	582	240	3	42	1,516
	0.8%	8.2%	33.8%	38.4%	15.8%	0.2%	2.8%	100.0%
計画的に整備された住宅地のまちなみ景観	17	219	852	287	92	3	46	1,516
	1.1%	14.4%	56.2%	18.9%	6.1%	0.2%	3.0%	100.0%
幹線道路沿道のまちなみ景観	7	119	855	399	93	0	43	1,516
	0.5%	7.8%	56.4%	26.3%	6.1%	0.0%	2.8%	100.0%
大規模な工場が建ち並ぶ景観	10	67	792	438	145	1	63	1,516
	0.7%	4.4%	52.2%	28.9%	9.6%	0.1%	4.2%	100.0%

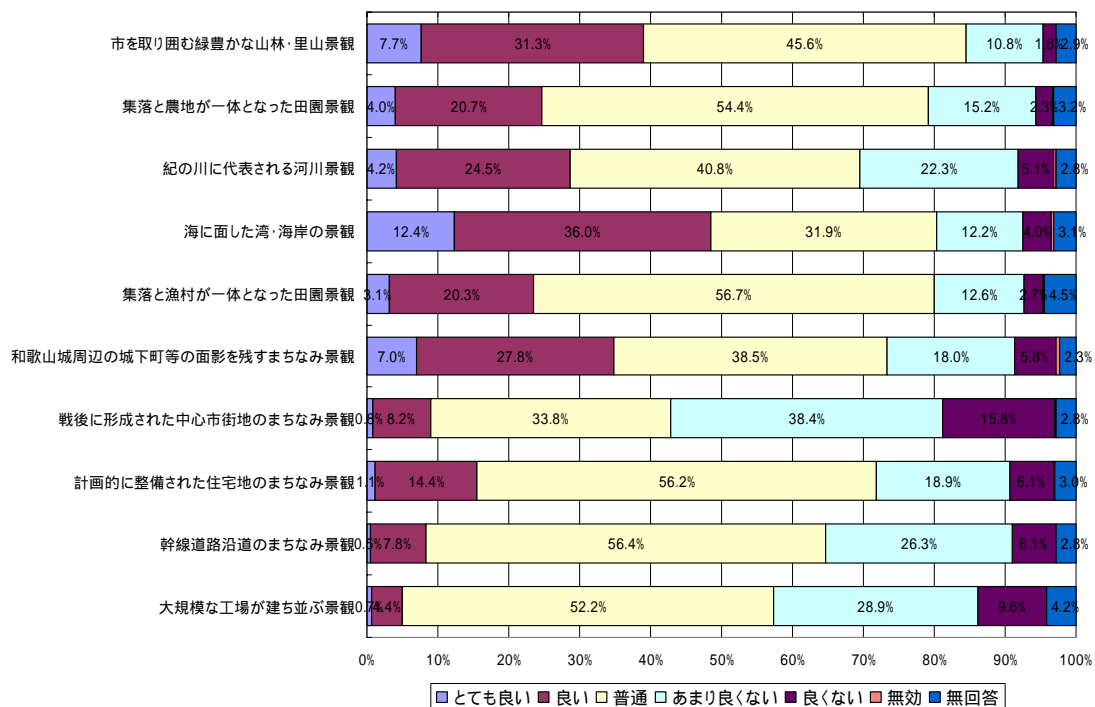


図3 市内の類型別景観の評価

湾・海岸や山林の自然景観、和歌山城周辺のまちなみ景観が高い評価を得ています

- ・ 「海に面した湾・海岸の景観」「市を取り囲む緑豊かな山林・里山景観」について、プラスの回答の割合が高くなっており、山・海の自然景観を高く評価しています。
- ・ なお、「紀の川に代表される河川景観」については、良い評価もある一方、良くないという評価も同程度見られ、同じ自然系の景観であっても、湾・海岸や山林ほどは評価されていません。
- ・ 次に、「和歌山城周辺の城下町等の面影を残すまちなみ景観」について、同様にプラスの回答の割合が多く、高い評価が得られています。

市街地景観についての評価が全般的に低くなっています

- ・ 「戦後に形成された中心市街地（大通り・商店街・駅前など）のまちなみ景観」は、半数近くが「あまり良くない」「良くない」と回答しています。
- ・ 「大規模な工場が建ち並ぶ景観」「幹線道路沿道のまちなみ景観」についても、3割近くがマイナス評価となっており、市街地の景観については概して評価が低くなっています。

それ以外の景観については、あまり意識がされていない

- ・ 「集落と農地が一体となった田園景観」「集落と漁村が一体となった田園景観」「計画的に整備された住宅地のまちなみ景観」は大半が「普通」と回答し、あまり意識がされていないと考えられます。

(2) 市内の景観を損ねているもの

市内の景観を損ねているものとして、2つまで選択してもらいました。その上で、具体的な場所についてうかがいました。

表4 市内の景観を損ねているもの(2つまで選択)

周囲の景観と調和しない広告物や看板	周囲の景観と調和しない色やデザインの建物	まちなみにそぐわない高い建物	まちなかの空き店舗や空き地など	使われなくなった田畑(耕作放棄地など)	河川敷における不法占有、工作物	人工的に整備された護岸	幹線道路沿いの商業施設など
166	64	26	861	185	285	72	20
10.9%	4.2%	1.7%	56.8%	12.2%	18.8%	4.7%	1.3%
幹線道路沿いの商業施設や遊戯施設	マナーの悪さ(不法駐輪、ゴミのポイ捨てなど)	緑の少ないまちなみ	歴史的な趣を感じさせる建物の喪失	その他	無効	回答票数	
59	615	160	119	51	81	1,516	
3.9%	40.6%	10.6%	7.8%	3.4%	5.3%	100.0%	

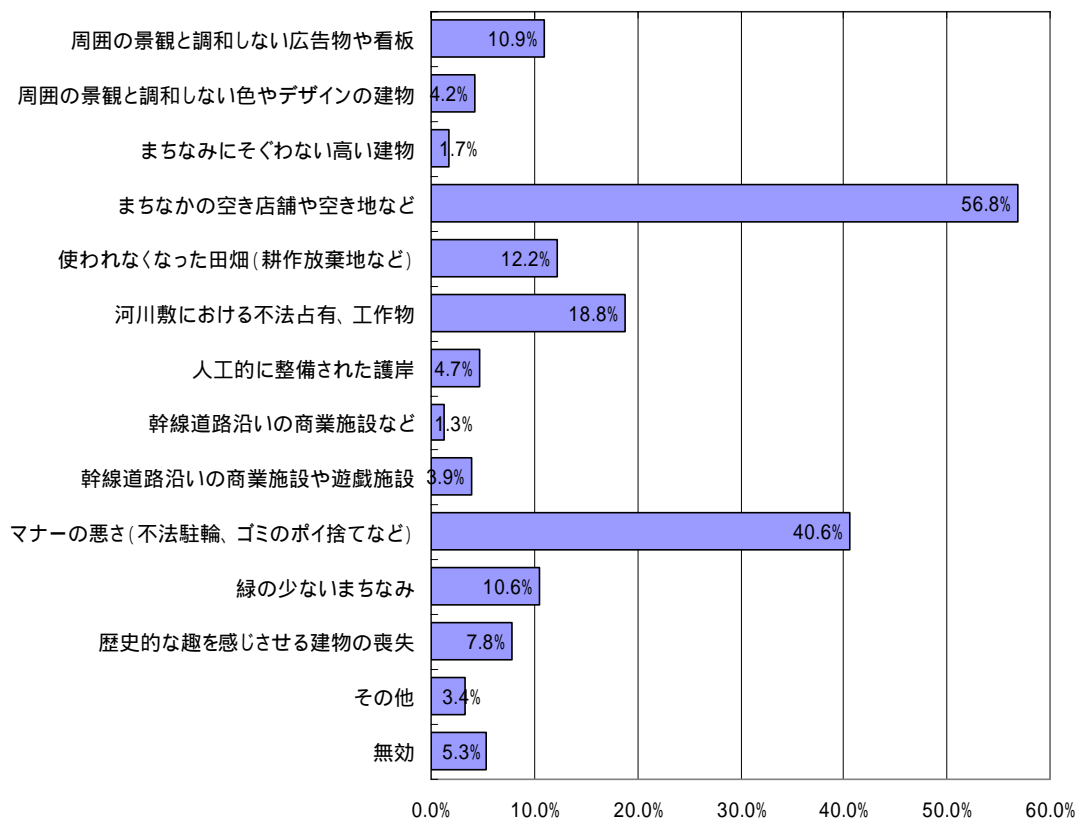


図4 市内の景観を損ねているもの(2つまで選択)

まちなかの空き店舗・空き地、マナーの悪さに問題が集中しています

- ・ 「まちなかの空き店舗や空き地など」を挙げた人は全体の 56.8%と突出して多くなりました。中心市街地などで見られる空き店舗・空き地、道路沿道での空き地等、まちの元気が感じられず寂れた様子に、問題意識が集中しています。
- ・ 加えて、「マナーの悪さ(不法駐輪、ゴミのポイ捨てなど)」(同 40.6%)という美化の問題が挙げられています。

その他の問題も指摘されていますが、それほど多くの回答を集めませんでした

- ・ 「河川敷における不法占有、工作物」についても問題点としてあげる割合が一定見られており、先の河川景観への評価が低かった理由と考えられます。
- ・ 次いで、「使われなくなった田畑(耕作放棄地など)」「周囲の景観と調和しない広告物と看板」「緑の少ないまちなみ」なども 1 割程度見られますが、 の回答と比較して圧倒的に低くなっています。

その他、阻害要因としては道路上の景観が多く挙げられています

- ・ その他で挙げられている阻害要因としては、道路(幹線道路、歩道、自動車道)の整備の遅れの他、電線・電柱が見苦しい、街路樹の手入れがなされていない、ゴミのポイ捨てが多い、といった、道路上の景観に対する意見が多く見られました。

具体的な場所として、ぶらくり丁や美園商店街といった中心市街地、JR 和歌山駅・南海和歌山市駅の駅前における活気のなさの他、紀の川周辺における景観の悪化等が挙げられていました

- ・ 具体的な場所を聞いたところ、「ぶらくり丁」を挙げる人が圧倒的に多く(173人)、次いで「美園商店街」が挙げられました(50人)。いずれも、空き店舗等が目立つ商店街の寂れた様子や、活気が無い様子を懸念する声が多く寄せられました。
- ・ JR 和歌山駅・南海和歌山市駅の「駅前」についても意見が述べられ、「玄関口としてすたれている」「貧弱な感じがして活気がない」と、ここでも商店街と同様に活気のなさを懸念する声が多く寄せられました。
- ・ 「紀の川周辺」では、河川敷の利用に意見が集中し、草木の繁茂やゴミ捨てによる景観の悪化、不法占有の問題などが挙げられていました。

2. お気に入りの景観（まちなみ・風景）について

(1) お気に入りの景観資源・その景観資源を楽しむことができる場所とその理由

お気に入りの景観資源、もしくはその景観資源を楽しむことができる場所などを、主なポイントの例を参考に上位3つまで回答（自由記述）してもらい、その理由についても記述してもらいました。

キーワードで分類整理すると下記のような場所（エリア）に集約されます。

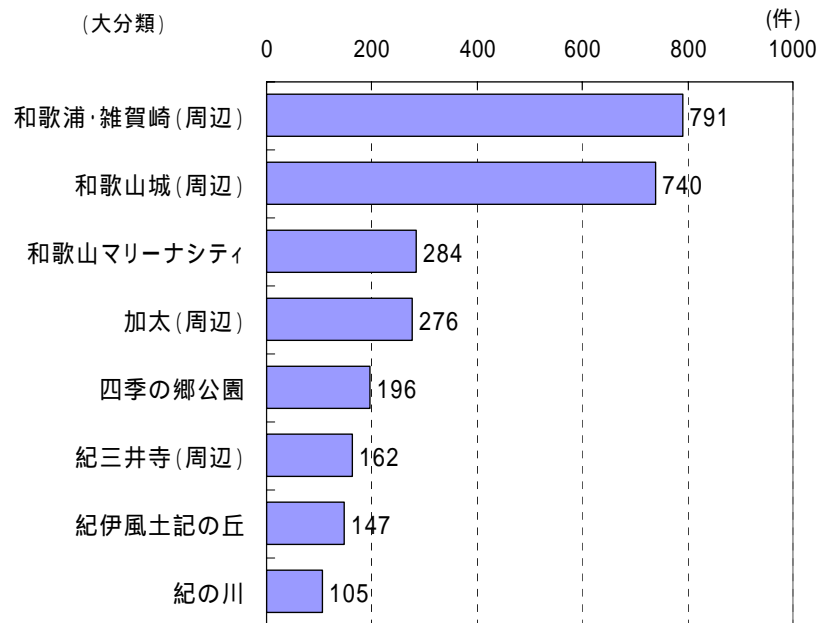


図 5 お気に入りの景観資源（100 件以上の回答があったものを抜粋）

第 1 カテゴリー：「和歌浦・雑賀崎（周辺）」、「和歌山城（周辺）」

- ・ 「和歌浦・雑賀崎（周辺）」、「和歌山城（周辺）」にまとめられる景観資源・場所がともに 700 件を超え、他と比較しても圧倒的多数を占めました。
- ・ 「和歌浦・雑賀崎（周辺）」では、その風光明媚な景色だけでなく、「片男波」「番所庭園」「不老橋」「養翠園」などがお気に入りの景観資源として挙げられています。
- ・ 「和歌山城（周辺）」は、多くの人々が「シンボル（象徴）」と認識されており、特に「桜に囲まれた和歌山城」や「三年坂から見る和歌山城」などに対する愛着の高さがうかがえました。

第 2 カテゴリー：「和歌山マリーナシティ」、「加太（周辺）」

- ・ 第 1 カテゴリーの 2 つに次いで「和歌山マリーナシティ」や「加太（周辺）」の人気も高くなりました。
- ・ 「和歌山マリーナシティ」では、「美しい海が望める」「夕日がきれい」といった

景観面からの選択以外に、「リゾート気分が味わえる」「活気がある」「楽しく遊べるスポット」といった、訪れて遊べる・楽しめる場所であることも選択理由として挙がっています。

- ・ 「加太(周辺)」については、高台から見る紀伊水道の景色(友ヶ島や淡路島まで見渡せる)の他、景勝地である「城ヶ崎」、難流しで有名な「淡島神社」や海水浴場の「磯ノ浦」などが具体的な名前として挙げられています。

第3 カテゴリー：「四季の郷公園」、「紀三井寺(周辺)」、「紀伊風土記の丘」、「紀の川」

- ・ 「四季の郷公園」は、「緑豊かな自然に触れることができる」「子どもと遊ぶのに適している」といった理由から人気が高くなっています。
- ・ 「紀三井寺(周辺)」は、「春の新緑や早咲きの桜が楽しめる」、「紀三井寺から見渡す和歌浦の景色の美しさ」などを理由として選ばれています。
- ・ 史跡公園である「紀伊風土記の丘」は、気軽に歴史に触れることができる点の他に、「ウォーキングコースや散歩コースに適している」といった理由からも人気が高くなっています。
- ・ 「紀の川」は、「雄大な川の流れを感じることができる」「河口部の夕日の美しさ」などが理由として挙がっています。また、河川敷に整備されている「せせらぎ公園」をお気に入りの場所としてあげる人もおられました。

その他：

- ・ その他にも、主に以下のような場所がお気に入りの景観資源・場所として挙げられました。
 - ・ 「寺社・仏閣」 日前神宮、伊太祁曽神社など
 - ・ 「けやき大通り」
 - ・ 「高台(阪和道や鉄道など)からみる和歌山市内の景色」
 - ・ 「和歌山県立近代美術館」

地域別のクロス集計

前述の上位8項目について地域別の回答状況を確認しました。

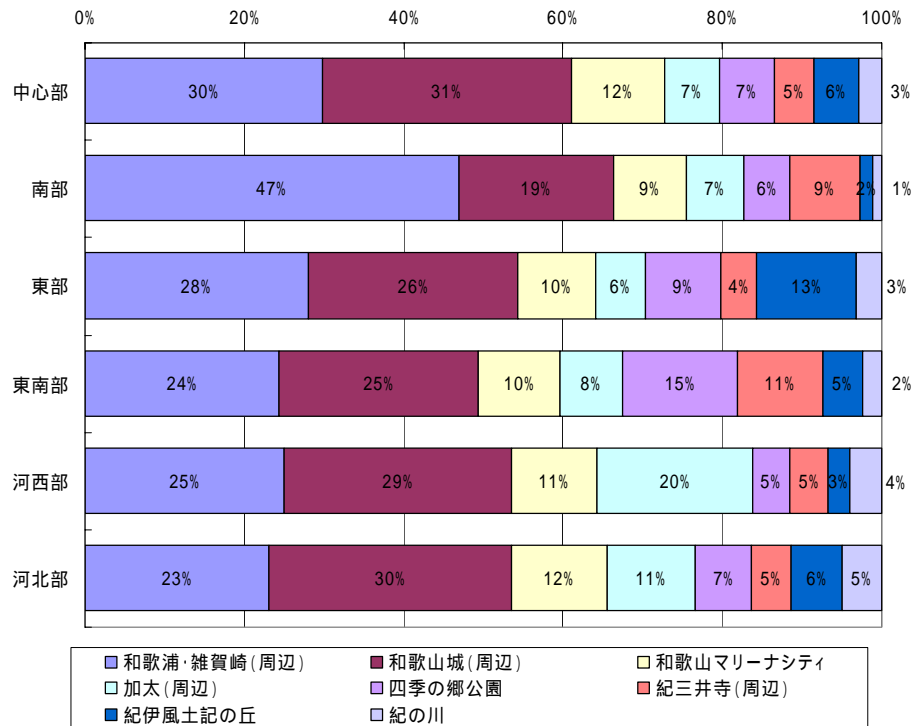


図6 お気に入りの景観資源(上位8項目)の地域別クロス

「和歌浦・雑賀崎(周辺)」「加太(周辺)」「四季の郷公園」「紀伊風土記の丘」について地域特性がみられます

- 南部における「和歌浦・雑賀崎(周辺)」、河西部における「加太(周辺)」、東南部における「四季の郷公園」、東部における「紀伊風土記の丘」など、お住まいの地域近くの景観資源に対する高い評価がうかがえます。

年齢別のクロス集計

前述の上位8項目について年齢別の回答状況を確認しました。

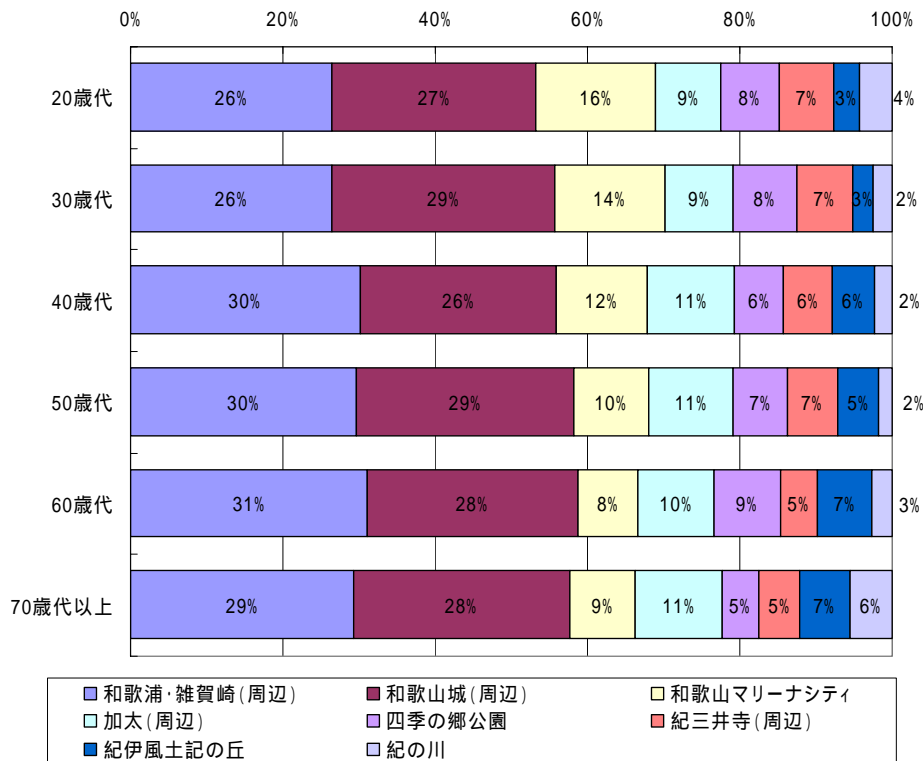


図 7 お気に入りの景観資源(上位8項目)の年齢別クロス

年齢別に特段の差はみうけられません。

3. 市の景観（まちなみ・風景）づくりの取り組みについて

(1) 和歌山市の良好な景観づくりに向けて取り組む際の姿勢

市の良好な景観づくりに向けて取り組む際の姿勢を複数回答でうかがいました。

表 5 和歌山市の良好な景観づくりに向けて取り組む際の姿勢

行政が指導して規制をかけていくことで良好な景観を保全すべきである	行政と市民、事業者などが十分に話し合いながら、ともに進めていくべきである	市民や事業者の自主的な判断や工夫に任せるべきである	特別な取り組みが必要だとは思わない	良く分からない	その他	無回答	回答票数
286	970	44	25	126	54	81	1,516
18.9%	64.0%	2.9%	1.6%	8.3%	3.6%	5.3%	100.0%

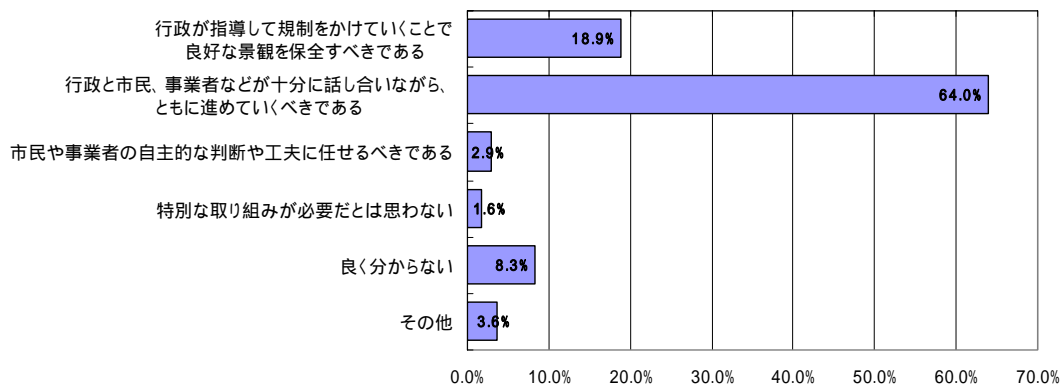


図 9 和歌山市の良好な景観づくりに向けて取り組む際の姿勢

「行政と市民、事業者が話しあいながらともに進めるべき」との意見が大半でした

- ・ 回答者の 64.0%が「行政と市民、事業者などが十分に話し合いながら、ともに進めていくべきである」と回答しており、協働による景観づくりを重視していることが分かります。
- ・ 「行政が指導して規制をかけていくことで良好な景観を保全すべきである」との回答は 18.9%にとどまっており、規制型の景観づくりに対しての支持は高くありませんでした。

その他の意見として、外部の意見を取り入れるべきという意見や、市民も巻き込んだ取り組みが必要との意見が挙げられました

- ・ その他の意見を整理したところ「地元の目では当たり前に見えてしまうので、観光客や外から来た人の意見を取り入れるべき」という意見や、「デザインや美意識について造詣の深い人物を招き、指導を仰ぐべき」という意見など、外部の意見

を参考にすべきとの意見が見られました。

- ・ また、「市民の声も聞き、市民も巻き込んで取り組むべき」「実際に街並み、風景で生活・商業活動を行う生活者の考えにも意見を求めるべき」といった意見や、「和歌山市が考える良好な景観と市民が考える良好な景観を一致させるべき」といった意見が出されており、市民と行政が一体となって取り組んでいくことの重要性が指摘されています。

(2) 行政の良好な景観づくりに向けた取り組み

行政に対して、良好な景観づくりに向けた取り組みを例示し、それぞれについて「特に重要である」「重要である」「あまり重要ではない」「重要ではない」の4段階で評価してもらいました。

表 6 行政の良好な景観づくりに向けた取り組み

	特に重要である	重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無効	無回答	合計
市全体の景観形成の方針づくり	452 29.8%	841 55.5%	99 6.5%	15 1.0%	0 0.0%	109 7.2%	1,516 100.0%
建物や敷地などに関する規制や誘導	159 10.5%	861 56.8%	325 21.4%	27 1.8%	3 0.2%	141 9.3%	1,516 100.0%
屋外広告物に対する規制や誘導	284 18.7%	819 54.0%	260 17.2%	28 1.8%	1 0.1%	124 8.2%	1,516 100.0%
良好な景観づくりを先導する公共施設(道路、公園など)の整備	524 34.6%	740 48.8%	126 8.3%	22 1.5%	0 0.0%	104 6.9%	1,516 100.0%
景観上重要な資源の保全と活用	399 26.3%	851 56.1%	123 8.1%	10 0.7%	3 0.2%	130 8.6%	1,516 100.0%
良好な景観づくりのための建物改修などに対する助成	183 12.1%	800 52.8%	361 23.8%	34 2.2%	2 0.1%	136 9.0%	1,516 100.0%
アドバイザーや専門家の派遣など景観づくりの取り組みへの支援	183 12.1%	699 46.1%	430 28.4%	69 4.6%	5 0.3%	130 8.6%	1,516 100.0%
セミナーやシンポジウム、講演会など市民への学習機会の提供	104 6.9%	618 40.8%	569 37.5%	93 6.1%	1 0.1%	131 8.6%	1,516 100.0%
優れた取り組みに対する顕彰	122 8.0%	658 43.4%	492 32.5%	90 5.9%	0 0.0%	154 10.2%	1,516 100.0%

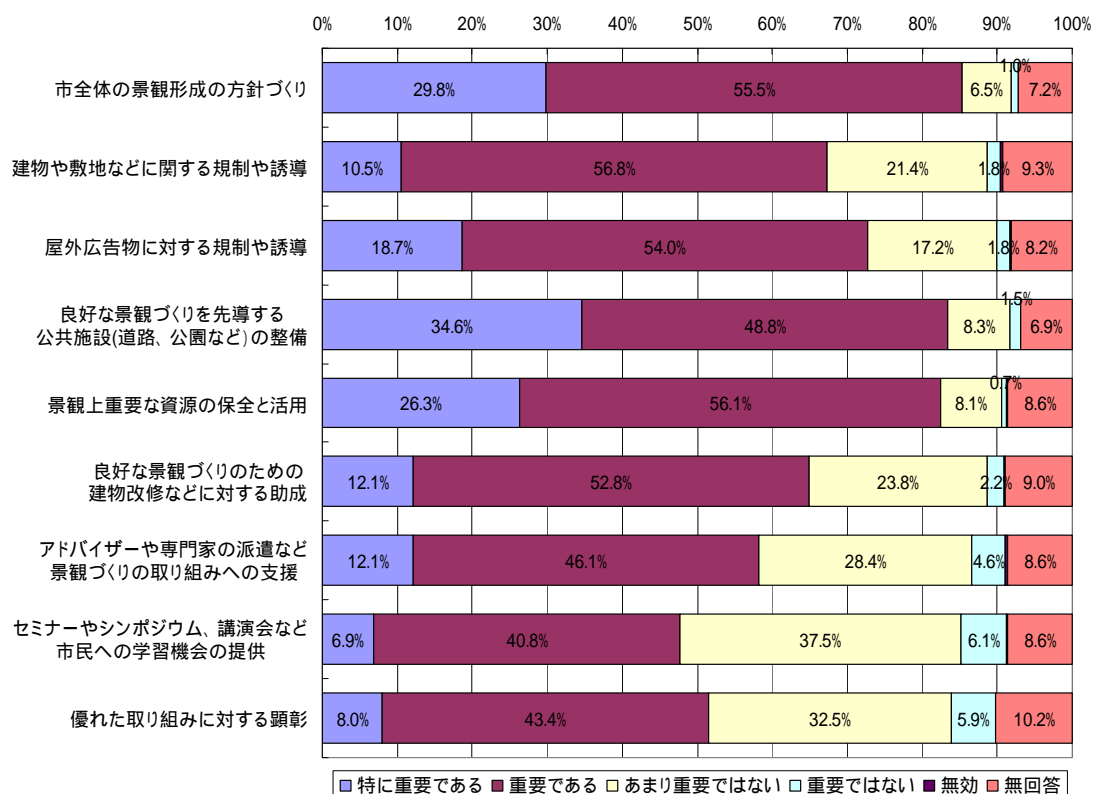


図 10 行政の良好な景観づくりに向けた取り組み

市全体の方針づくりに加え、公共施設の整備、重要な資源の保全と活用に期待が寄せられています

- ・ 「市全体の景観形成の方針づくり」「良好な景観づくりを先導する公共施設(道路、公園など)の整備」「景観上重要な資源の保全と活用」については、回答者の8割以上が「特に重要である」「重要である」と回答しており、市の取り組みとして期待が大きいことが分かります。

建物や広告の規制誘導に対しても一定の役割が期待されています

- ・ 「建物や敷地などに関する規制や誘導」「屋外広告物に対する規制や誘導」についても、同様に6割以上が「特に重要である」「重要である」と回答しており、一定の役割が期待されています。

助成や支援には期待があるものの、学習機会の提供や顕彰は重視しないという人もおられます

- ・ 「良好な景観づくりのための建物改修などに対する助成」「アドバイザーや専門家

の派遣など景観づくりの取り組みへの支援」は、上記と同様6割以上が「特に重要である」「重要である」と回答しており、助成や支援への一定の期待がうかがえます。

- ・ 「セミナーやシンポジウム、講演会など市民への学習機会の提供」「優れた取り組みに対する顕彰」など、景観に関する市民活動（ソフト）への支援は、重要という回答も一定数あるものの、「あまり重要ではない」という回答の割合が多くなっています。

その他の意見として、ビジョンの共有とそれを実現するための市民参加に期待が寄せられました

- ・ その他の意見を整理したところ、「明確なビジョンの共有と、ビジョンのある景観形成を実現するための市民参加」が必要という意見や、「市民の気持ちを盛り上げる目標を示して任せる」「もっと市民一人一人が自覚を持って取り組むべきである」という意見などが挙げられました。市としての景観のビジョンを掲げ、広く共有し、それを実現するために市民参加にも取り組むべき、という意見が見られました。

4. 景観（まちなみ・風景）づくりへの協力・参加意向について

(1) 市の良好な景観づくりに向けて、あなた自身が協力・参加できると思うこと
市の良好な景観づくりに向けて、あなた自身が協力・参加できると思うことについて、複数回答でうかがいました。

表 7 市の良好な景観づくりに向けて、あなた自身が協力・参加できると思うこと

良好な住環境づくり(玄関先や生垣の手入れなど)	建て替え時や改修時における周辺景観への配慮	地域コミュニティによる活動への参加(清掃活動や花植え活動など)	景観に関する勉強会やセミナーなどへの参加	特に取り組みたいと思わない	その他	無回答	回答票数
897	369	581	188	108	61	86	1,516
59.2%	24.3%	38.3%	12.4%	7.1%	4.0%	5.7%	100.0%

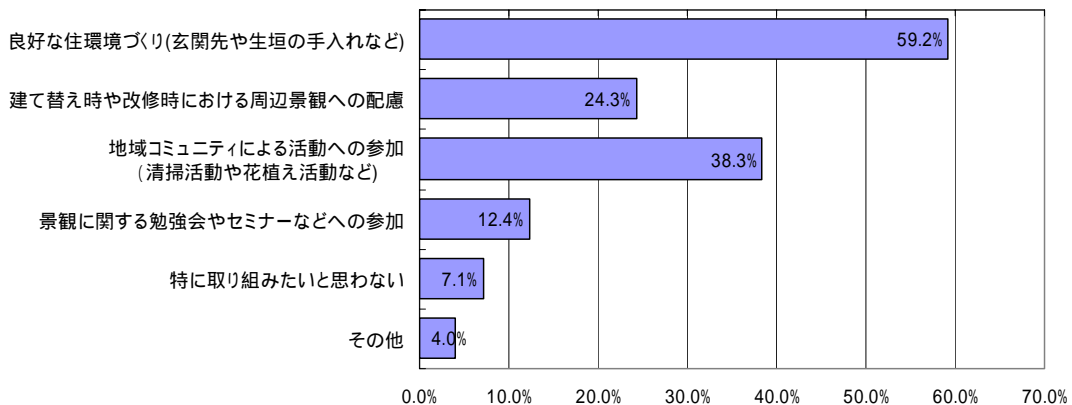


図 11 市の良好な景観づくりに向けて、あなた自身が協力・参加できると思うこと

身近なところから出来るソフトの活動への参加意向が高くなっています

- ・「良好な住環境づくり(玄関先や生垣の手入れなど)」は 59.2%が、「地域コミュニティによる活動への参加(清掃活動や花植え活動など)」は 38.3%が協力・参加できると回答しており、自分で身近なところから出来るソフトの活動からの参加意向が見られます。
- ・一方で、「建て替え時や改修時における周辺景観への配慮」は 24.3%にとどまっています。

学習の機会への参加意向は高くない

- ・「景観に関する勉強会やセミナーなどへの参加」は 12.4%にとどまっており、景観の学習などへの参加意向は高くないことが分かります。

その他の意見では、「参加しにくい」「どうしたらよいか分からない」といった回答が多く見られました

- ・ その他の意見を整理したところ、「参加しにくい」「よく分からない」といった回答が多く、具体的に市民ができること（アクション）がイメージしにくい様子うかがえます。
- ・ 他には「観光地等でのゴミ拾い、マナー厳守」といった美化活動への参加や、「個々が景観に興味を持つことが大事」という意見もありました。

5. 自由記述

その他、市の良好な景観づくりに向けた意見等を自由記述でうかがいました。出されていた意見を整理し、まとめました。

(1) 景観への評価

身近な生活景観の改善についての意見が特に多く寄せられています

- ・道路・河川に捨てられたゴミや、茂りすぎた樹木、鳥のふん害など、市民の身近な生活の景観に対して、「見苦しい」「きれいにしてほしい」「何とか対策はないのか」といった不満の声が特に多く寄せられています。

お住まいの方は気づいていないが、外から見ると評価すべき良い景観があるという意見が見られます

- ・「良いところがたくさんあって気に入っている」という声も寄せられていますが、それは、「外から移り住んできた」という方に多く見られました。
- ・「山も海も川もお城もあり、他の都市と比べて非常に恵まれている」という声がある一方で、「お住まいの人は景観の良さに気づいていないのではないか」という意見を述べられており、「もったいない」と感じられている人が少なからずおられます。

(2) 景観づくりの方向性

景観づくりへの期待もある反面、その効果を疑問視する声も見られます

- ・景観づくりに対して、「良いところがあるので積極的に取り組んでほしい」「応援している」といった期待が寄せられている反面、「既に大きく景観が変わってしまって残念」「今さらどうしていくのか」「財政状況も考慮すると、インフラ整備、福祉など、景観より優先すべきことがあるのではないか」といった効果を疑問視する厳しい声も多く寄せられています。
- ・狭小な道路の改善、整備の推進については特に多くの意見が寄せられていました。

市の個性を作る／顔となる景観づくりを進め、まちの良いイメージづくりに取り組むべきという意見が多く寄せられました

- ・市の景観に対して、他都市と比較して「顔となる場所がない」「これといったイメージ／“売り”がはっきり打ち出せていない」といった声が寄せられ、「まずは和歌山城や JR・南海の駅前など、顔となる場所を中心とした景観づくりを進めるべき」というような、まちのイメージを代表する場所で先行的に景観づくりを進めるべき、という意見が挙げられています。

今後の景観づくりの具体的な柱として、観光施策の重点化、中心市街地の活性化、自然景観の保全と配慮などが挙げられました。

- ・具体的な景観づくりの柱として、主に以下のものが提案されています。

観光施策の重点化

現状では観光資源が上手く活かし切れていないので、他都市・府県等から人を呼び込むために積極的に取り組むべき、という意見が多く寄せられました。

- 和歌山城をはじめとした資源を活かした観光客の誘致や施設の整備
- 自然環境をいかした健康づくり（ウォーキングなど）の取り組み
- 観光客が楽しめるような案内の整備やもてなしの取り組みの推進
- まちの良さをきちんと伝えられるようなPRの推進 など

一方、「景観づくりは観光客向けなのか、居住者向けなのか、が分からない」という意見も寄せられていました。

中心市街地の活性化

ぶらくり丁や美園商店街などの活力低下を懸念し、活性化に向けた手だてを打ってほしい、という意見が多く寄せられました。

- 老朽化した商店街・建物等のリニューアル
- にぎわいを生み出す店舗等の誘致
- 駐車場の整備 など

自然景観の保全と配慮

和歌山市の景観の大きな特徴である自然景観を積極的に保全・活用すべきという声が多く寄せられました。

- 良好な自然（山、海岸）などの保全
- 開発に際しての配慮（郊外部での開発のコントロール） など

（３）景観づくりに対する市民の関わり方

市民と協働で進めるべきとの意見が寄せられましたが、一方で市民の意識をどう高めていくかが課題として挙げられました

- ・市民と一緒に話しあいながら景観づくりを進めていくべきという意見が挙げられ、景観づくりに際して「市の考え方が市民に伝わっていない」「どうすべきかを話しあう場がない」といった声がありました。
- ・その一方で、「市民の景観への意識が低い」「保守的な気風で、個々人の利益を優先しがちなので、難しいところがある」「景観に対する意識の底上げが必要だ」といった意見もあり、先の景観づくりへ疑問視する声ともあわせると、どのように景観づくりへの市民の意識を高めていくのか、が課題として挙げられます。

市民が主体となった景観づくりに向け、身近な良さを見つけていくこと、個々で出来るところから始めていくこと、頑張っている取り組みを応援すること、などが挙げられました

- ・市民が主体となって景観づくりを進めていくために、「まずは身近な景観の良さに気づいていくことが大事」という意見の他、「道路や観光地でゴミを捨てない、率先して捨てるなど身近に出来ることから取り組むべき」「自治会単位で清掃活動などに頑張っておられるところを表彰するなど、活動を応援すべき」といった意見が出されました。

街頭アンケートの結果

調査の概要

1. 調査の目的

市民及び来訪者が感じる和歌山市の景観資源（お気に入りの場所）や、問題とを感じる／改善が必要と思われる箇所について街頭インタビュー形式で把握しました。

2. 調査の実施概要

- ・ 人の往来が見込める場所をピックアップし、インタビュー形式で調査を実施。
- ・ 対象は概ね高校生以上とし、和歌山市内の景観（まちなみ、風景）について、「お気に入りの場所」、「改善が必要と思われる場所」を聞き取り、調査員が調査シートに記入する。
- ・ 調査場所と実施日は以下のとおり

調査場所・実施日・回収数

調査場所	調査実施日	回収数
パームシティ和歌山	2/13（土） 2/15（月） 10時～17時	255
ガーデンパーク和歌山	2/14（日） 2/16（火） 10時～17時	230
JR 和歌山駅	2/18（木） 2/20（土） 10時～17時	159
南海和歌山市駅	2/19（金） 2/21（日） 10時～17時	165
イズミヤ 紀伊川辺店	2/27（土） 10時～17時	90
イズミヤ 和歌山店	2/28（日） 10時～17時	110
合 計		1009

3. 調査項目

和歌山市内の景観（まちなみ・風景）について

- ・ お気に入りの場所、改善が必要と思われる場所とその理由

フェイスシート

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ お住まい（市内 or 市外）

調査の結果

1. 回答者の属性

(1) 性別・年齢

性別は男性が49.0%、女性が50.9%となりました。

年齢は60歳代の割合が若干高くなっていますが、年齢層に偏りが無いように配慮して声かけをしたため、20歳代から60歳代まで満遍なく回答を頂いています。

表 8 性別・年齢

男性	女性	無回答	合計
494	514	1	1,009
49.0%	50.9%	0.1%	100.0%

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答	合計
59	161	150	158	161	193	103	23	1	1,009
5.8%	16.0%	14.9%	15.7%	16.0%	19.1%	10.2%	2.3%	0.1%	100.0%

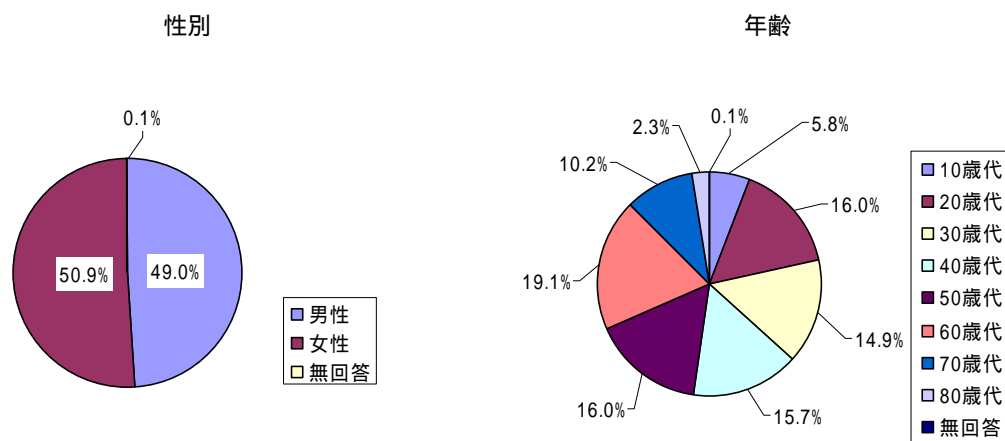


図 12 性別・年齢

(2) 居住地

居住地は、河西部が 33.6%と最も多く、パームシティやガーデンパークで実施したこと(計4日間)が大きく影響をしていると思われます。

また、市外(近隣の岩出市や岬町など)の方からも比較的多数を占めています。

表 9 居住地

中心部	南部	東部	東南部	河西部	河北部	市外	無回答	合計
248	55	115	33	339	57	162	0	1,009
24.6%	5.5%	11.4%	3.3%	33.6%	5.6%	16.1%	0.0%	100.0%

居住地

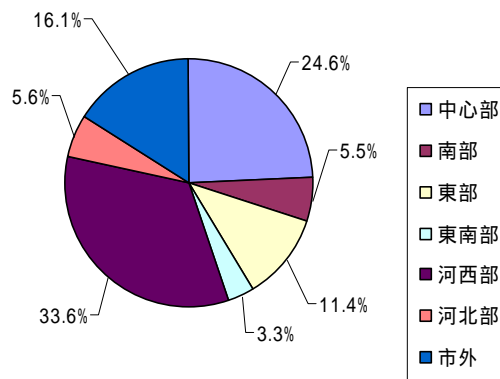


図 13 居住地・居住期間

居住地の分類

- ・ 中心部：本町、城北、広瀬、雄湊、大新、新南、吹上、砂山、今福、高松、芦原、宮前、中之島、宮北
- ・ 南部：雑賀、雑賀崎、田野、和歌浦、名草
- ・ 東部：四箇郷、宮、西和佐、和佐、小倉
- ・ 東南部：岡崎、三田、安原、西山東、東山東
- ・ 河西部：野崎、湊、松江、木本、貴志、楠見、西脇、加太
- ・ 河北部：有功、直川、川永、山口、紀伊

2. 和歌山市内の景観（まちなみ・風景）について

（1）お気に入りの場所とその理由

お気に入りの景観資源、もしくはその景観資源を楽しむことができる場所などを、主なポイントの例を参考に上位3つまで回答（自由記述）してもらい、その理由についても回答してもらいました。

キーワードで分類整理すると下記のような場所（エリア）に集約されます。

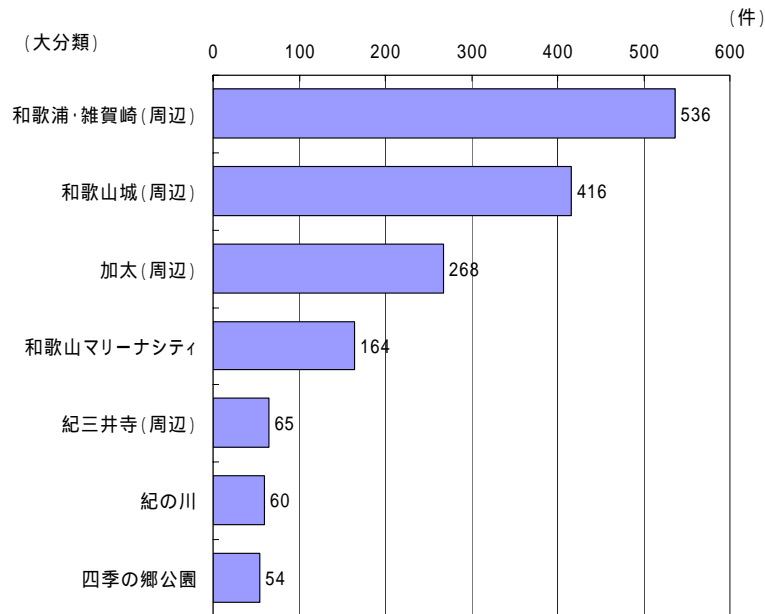


図 14 お気に入りの場所（50 件以上の回答があったものを抜粋）

第 1 カテゴリー：「和歌浦・雑賀崎（周辺）」、「和歌山城（周辺）」

- ・ 「和歌浦・雑賀崎（周辺）」「和歌山城（周辺）」にまとめられる景観資源・場所が圧倒的多数を占めました。
- ・ 「和歌浦・雑賀崎（周辺）」では、海岸美に対する高い評価が理由として挙げられています。
- ・ 「和歌山城（周辺）」は、「新緑の季節や桜の季節の和歌山城」や「三年坂やけやき大通りから見る和歌山城」、「ライトアップされた和歌山城」などに人気が集まっています。

第 2 カテゴリー：「加太（周辺）」、「和歌山マリーナシティ」

- ・ 「加太（周辺）」については、広がりのある海を堪能できる高台からの眺望点として人気が高くなっています。
- ・ 「和歌山マリーナシティ」では、「美しい海が望める」「夕日がきれい」といった景観面からの選択以外に、「まちなみが良い」「活気がある」といった理由も挙げ

っています。

第3 カテゴリー：「紀三井寺（周辺）」、「紀の川」、「四季の郷公園」

- ・ 「紀三井寺（周辺）」は、「紀三井寺から見る和歌浦の景色の美しさ」、「桜の季節の紀三井寺」などが理由として選ばれています。
- ・ 「紀の川」は、「ゆったりとした流れをみると落ち着く」、「堤防や橋から眺める紀の川がきれい」といった理由が挙がっています。
- ・ 「四季の郷公園」は、「見晴らしが良く、季節感を感じることができる」、「広々としていて子どもが楽しく遊べる」といった理由が挙がっています。

地域別のクロス集計

前述の上位7項目について地域別の回答状況を確認しました。

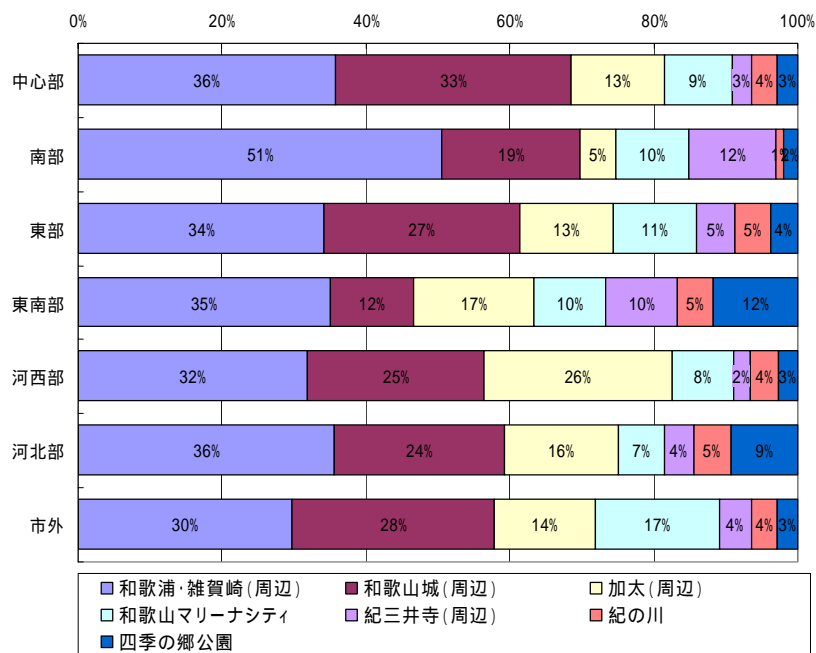


図 15 お気に入りの場所（上位7項目）の地域別クロス

「和歌浦・雑賀崎（周辺）」「加太（周辺）」や「紀三井寺（周辺）」について地域特性がみられます。

- ・ 中心部における「和歌山城（周辺）」、南部における「和歌浦・雑賀崎（周辺）」、河西部における「加太（周辺）」といった項目でお住まいの地域近くの景観資源に対する高い評価がうかがえます。
- ・ 一方、市外の方における「和歌山マリーナシティ」の人気の高さ、認知度の高さもうかがえます。

年代別のクロス集計

前述の上位7項目について年代別の回答状況を確認しました。

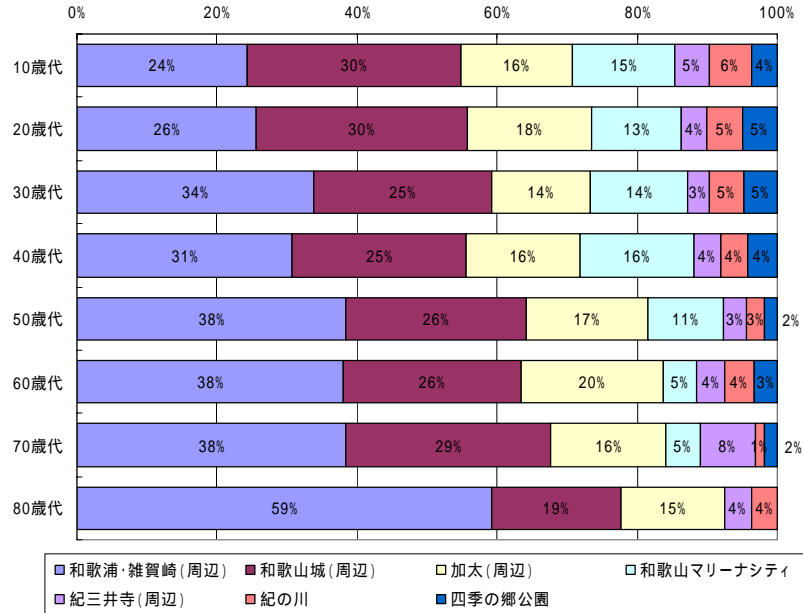


図 16 お気に入りの場所（上位7項目）の年代別クロス

高齢者の「和歌浦・雑賀崎（周辺）」の占める割合が高くなっています。

- ・ 高齢者の「和歌浦・雑賀崎（周辺）」の占める割合は高く、80歳代以上では過半数を占めています。

「和歌山マリーナシティ」は若い世代の占める割合が高くなっています。

- ・ レジャースポットである「和歌山マリーナシティ」は若い世代、子育て世代である20～40歳代に人気があります。

(2) 改善が必要と思われる場所とその理由

「ここはもう少し景観を良くした方が・・・」と思われる場所などについて、お気に入りの景観資源と同様に上位3つまで回答(自由記述)してもらい、その理由についても回答してもらいました。

キーワードで分類整理すると下記のような場所(エリア)に集約されます。

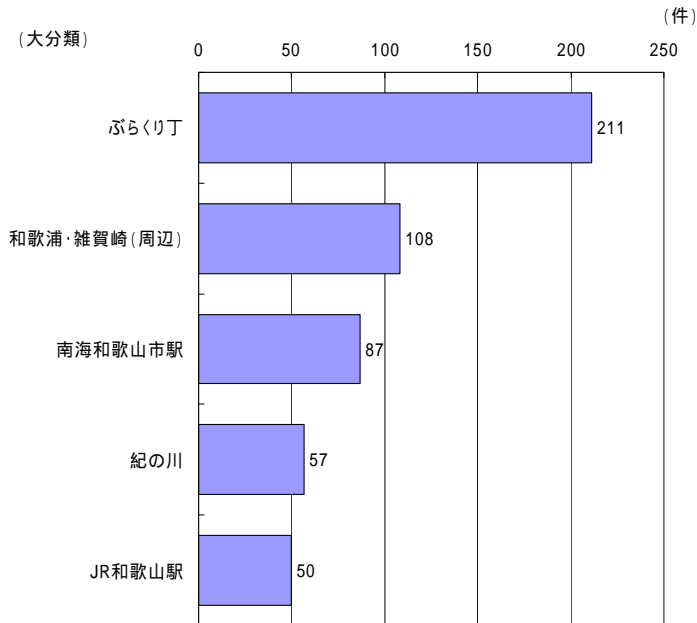


図 17 改善が必要と思われる場所(50件以上の回答があったものを抜粋)

第1カテゴリー:「ぶらくり丁」

- ・ 「ぶらくり丁」が圧倒的多数を占めています。
- ・ その理由の大半が「和歌山の中心部なのに寂れている、活気がない」といった意見で占められており、景観面というよりまちの停滞感に対する危機感がうかがえます。

第2カテゴリー:「和歌浦・雑賀崎(周辺)」、「南海和歌山市駅」

- ・ 「和歌浦・雑賀崎(周辺)」については、「全体的に寂れた感じがある」「老朽化(もしくは廃業)した旅館・ホテルがより停滞感を煽る」「海辺のゴミが目立つ」といった意見が挙げられています。
- ・ 「南海和歌山市駅」については、「寂れた感じがする」「近隣の商店街も元気がない」といった「ぶらくり丁」と同様の意見が挙がっています。

その他:「紀の川」、「JR和歌山駅」

- ・ 「紀の川」については、「ゴミが多い」「不法投棄がめだつ」といった意見が挙げ

られています。

- ・ 「JR和歌山駅」については、「南海和歌山市駅」と同様、「活気がない」という意見が多数を占め、その他には「放置自転車がひどい」「市の玄関口としてなんとかすべき」といった意見もあります。

地域別のクロス集計

前述の上位5項目について地域別の回答状況を確認しました。

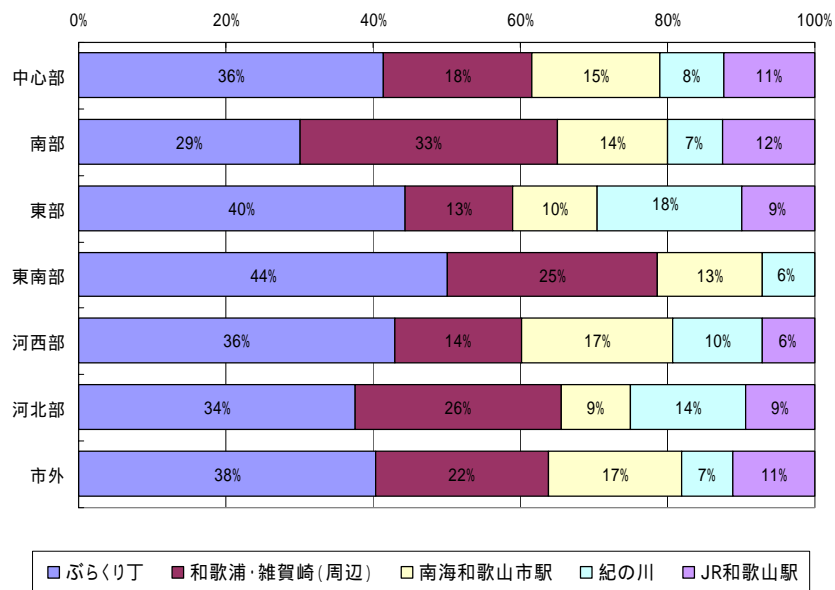


図 18 改善が必要と思われる場所（上位5項目）の地域別クロス

「和歌浦・雑賀崎（周辺）」で地域特性がみられます。

- ・ 南部における「和歌浦・雑賀崎（周辺）」の占める割合が高く、身近な景観資源に対する問題意識がうかがえます。

年齢別のクロス集計

前述の上位5項目について年齢別の回答状況を確認しました。

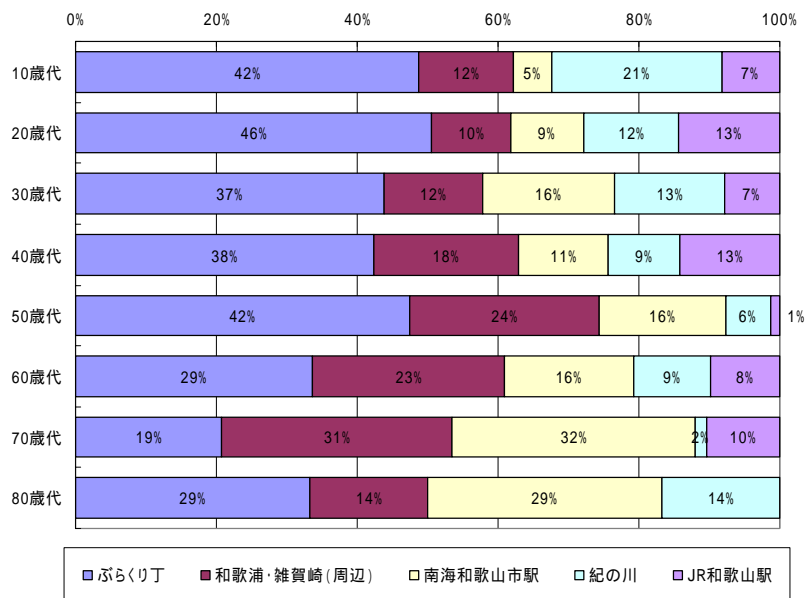


図 19 改善が必要と思われる場所（上位5項目）の年齢別クロス

若い世代を中心に「ぶらくり丁」へ関心が集まっています。

- ・ まちの中心部である「ぶらくり丁」に対し、若い世代を中心に関心が高く、まちの活性化への期待がうかがえます。

高齢者を中心に「和歌浦・雑賀崎(周辺)」「南海和歌山市駅」へ関心が集まっています。

- ・ 「和歌浦・雑賀崎(周辺)」「南海和歌山市駅」について、60歳代以上の占める割合が高くなっています。